

【電子版】



2026年 第2号 2026年1月30日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール info@jikosoren.jp

ホームページ→



労働組合の真価が問われる春闘

第48回中央委員会 春闘方針案を満場一致で可決



第48回中央委員会＝2026. 1. 28、東京・全労連会館

自交総連は1月28日、東京・全労連会館で、第48回中央委員会をWEB会議形式で開催しました。16地方から36人が出席し、『ライドシェア全面解禁阻止、スライド賃下げ・合理化阻止、

職場環境の改善 26春闘』をスローガンとする春闘方針を決定しました。

来賓として、全労連の秋山正臣議長、交運共闘の石橋寛副議長にあいさつをいただき、日本共産党の堀川あきこ衆議院議員から届いた激励メッセージを議長が読み上げました。

あいさつに立った庭和田中央執行委員長は、個人タクシー部会の設立を報告。政治情勢について、ライドシェア

法案廃案に触れつつ、今後の政権動向への警戒を呼びかけ、国政選挙において全組合員に投票権を行使するよう求めました。さらに、タクシー・バス業界での合理化や倒産がすすむなか、雇用と賃金を守るために労働組合の真価が問われており、裁判闘争や団体交渉で対抗する重要性を強調。タクシ

第48回中央委員会 参加者数

| | 定数 | 出席 | 委任 | 計 | 率 |
|------|-----|----|----|----|------|
| 役員 | 10 | 10 | | 10 | 100% |
| 中央委員 | 26 | 20 | 6 | 26 | 100% |
| 計 | 36 | 30 | 6 | 36 | 100% |
| 会計監査 | (2) | 1 | | 1 | |
| 来賓 | | 2 | | 2 | |
| 傍聴 | | 3 | | 3 | |
| 総務 | | 2 | | 2 | |
| 総計 | | | | 44 | |

注. 中央委員は、会場、ZOOM、委任状をもって、中央委員会に参加とした。上記の役員、中央委員の出席は、会場参加とZOOM参加の合計数である。

ー・ハイヤー、観光バス、自動車教習所、そして個人タクシーにおける様々な問題を、一つ一つみんなで話し合って、みんなで行動して、みんなで協力し合いながら、解決していきたいと決意表明しました。

すべての議題は8地方10人による質疑討論のあと、満場一致で採択されました。第2号議案では、内田大亮常任中央執行委員（福岡）を組織拡大専従オルグとして任命。第49回定期大会までの任期中、自交総連の組織人員を実増するとりくみを集中的にすすめる任務にあたります。

春闘アピール（後述）を拍手で決定し、参加者全員による団結ガンバロウで中央委員会を締めくくりました。

（発言の詳細は別号に掲載予定）

2026年春闘アピール



春闘アピールを
読み上げる市村中執

自交総連は、今春闘のスローガンを「ライドシェア全面解禁阻止、スライド賃下げ・合理化阻止、職場環境の改善 26春闘」と決定しました。

今春闘でとりくむ第1の課題は、ライドシェア全面解禁阻止です。日本維新の会が国会提出した「ライドシェア事業に係る制度の導入に関する法律案」は、衆議院の解散で廃案となりましたが、国民に害が及ぶような悪法は廃案に追い込むことが重要です。仮にこの法案が成立していれば、タクシーの安心・安全、労働者の雇用と権利が破壊されることから、もし維新の会が再提出審議され

た場合には、全国統一ストライキを含めた総力をあげた闘いが必要です。危険なライドシェアではなく、タクシーの充実が必要との声を上げましょう。

第2の課題は、賃金・労働条件改善の獲得です。自交労働者の賃金・労働条件は劣悪であり、物価高騰が続くなかで生活を維持していくのも深刻な状況となっています。運賃改定では、事業者には改定趣旨を守らせ、ノースライドを確保して、労働条件改善を果たすためにも、スライド賃下げを許さず、職場を基礎とした全国的な統一闘争によって賃上げ、労働条件改善をかちと

りましょう。

第3の課題は、組織の強化拡大です。未組織労働者を組織して、数を増やしていかない限り、抜本的な労働条件の改善をかちとることはできません。実利実益を示せる組合でなければ組織拡大は困難です。各地連・地本・単組は学習を基礎に組織強化をおこない、職場で不満をもつ労働者に、自交総連の存在価値を示して、仲間に迎え入れていきましょう。

第4の課題は、政治革新です。政治のあり方は、私たち自交労働者のくらしに密接にかかわっていきます。高市早苗政権は、高支持率を背景に解散・総選挙に踏み切りました。「台湾発言」にみられるように、国益を考えない軽率な発言によって地域の緊張悪化を引き起こしただけでなく、トランプ政権が求める大軍拡に前のめりで、暮らしの予算を切り捨てた増税によって、生活は厳しさを増します。この総選挙では国民本位の政治に転化させるために奮闘しましょう。

自交労働者のみなさん、団結してたたかい、仲間を増やして要求を実現しましょう。2026年春闘では、スローガンを軸にライドシェア全面解禁阻止と組織の組織拡大をめざし、全国の仲間とともに総力をあげて労働条件改善をかちとりましょう。

2026年1月28日

自交総連第48回中央委員会